

” 次のステージ “へ

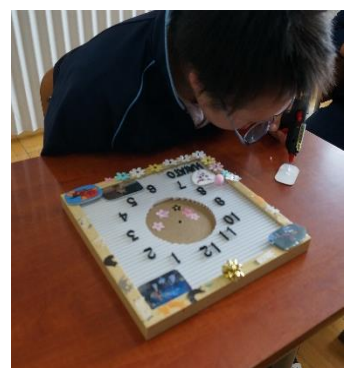


今年は、例年に比べて大変温かく、校庭での雪遊びはできませんが、学校の周りでは、「オオイヌノフグリ」の花が咲いていたり水仙の芽がぐんぐんと伸びていたり、春の気配がたくさん感じられています。季節は、着実に、冬から春に向かっていくようです。

学校では、学年末に向け、次年度を意識した学習が進められています。子どもたち一人ひとりの今年の育ちを次のステージで、さらに、のびし、ひろげられるよう、しっかりつないでいきたいと考えています。



小学部では、高学年を中心に、音楽のまとめの学習として和楽器を使った学習が進められています。リズムを合わせて、心を合わせて取り組む姿は、とても頼もしく来年が楽しみです。



中学部卒業を迎えるに当たり、これまでの自分の育ちを振り返る学習をしました。そして在校生は、卒業生との思い出を振り返りながら、記念品の製作に取り組んでいます。親への感謝、卒業生への感謝など「感謝」の心に気づく機会となっています。



高等部では、今年お世話になった皆さんを招いて「カフェ」が開催されました。「カフェ」は、自分が培った力を発揮するとともにその力を生徒同士がお互いに認め合う機会となっています。

令和2年2月

～児童生徒一人ひとりの夢の実現をめざして～



福島県立たむら支援学校長 齊藤 恵子